

親子で「お香とお茶」を楽しもう!

開催日 9/29 日

塩町「江戸期の古民家そめや」

かおりを 「 間 (き) く 」って、ふしぎだね。

かおりを「かぐ」ことを、香道 (こうどう)の世界では「聞く」といいます。 「きく」という言葉に香道のすべてが、秘(ひ)められているとのこと。 「きく」とはどういうことなのでしょうか。

古民家の座敷が500年前にタイムスリップする"どこでもドア"?!なんと、昨年の講座がとても子供たちに好評だったのです。

開催日時: 9月29日(日)

午後3:00 ~ 午後4:30 (予定)

定員: 18名 ※先着順で締め切り。

(親子で7組程度/中・高生は単独可能)

会費: 1人500円(お抹茶でお菓子をいただきます)

持ち物:白い靴下

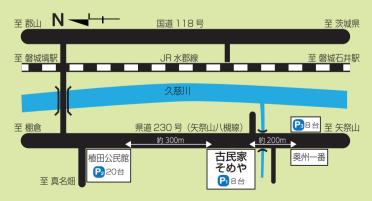
申込方法:メールまたは、Fax、二次元コードから

※詳しくは裏面を参照。

講師: 志野流香道白河教場

場所:塙町「江戸期の古民家そめや」

〒963-5343 福島県東白川郡塙町植田下地内(ゲチウチ) 1番地



【主催】 一般社団法人二ワトコ (水郡線沿線古民家群活性化委員会)

保護者の方たちへ

かおりを聞くことで、足利時代の貴族文化を体現してみませんか。

『日本書紀』によると、飛鳥時代に香木が淡路島に漂着したことから、日本の香木文化が始まったと言われています。香木は、仏教という宗教儀礼の中で重用され、やがて平安時代、造唐使の廃止に伴い、中国とは別の日本独自の"香の道"の歩みが室町時代から始まります。香は和歌とともに、貴族たちが自らを表現する重要な手段となりました。とはいえ、現代の私たちにはお稽古事の一つでしかありません。

そんな折、日本の二大香道流派の「志野流」の始祖・志野宗信が白河の出身と知りました。 精神世界の芸術と言われる「志野流香道」の一端を、覗いてみたいと思いませんか。

子どもたちと一緒に。

【お申し込み方法・お問合せ】

下記の申込書にご記入いただき、<u>メール添付</u>または、<u>Fax</u> でお申し込みください。 ホームページ (右記二次元コード) でも受け付けています。

メール: niwa@niwatoco.jp

Fax: 0247-57-5911

一般社団法人ニワトコ

T963-5683

福島県東白川郡棚倉町大字下山本字左近田2-1 (JA『みりょく満点物語』 裏側道路向かい)

Tel: 090-1421-8448 (ニワトコ事務局)

Mail: niwa@niwatoco.jp

申込書

親子で参加の方

お子様の氏名	(ふりがな)						男·女	
学校名・学年		小・中・高	年	生年月日		年	月	В
保護者の氏名				生年月日		年	月	В
ご住所 電話番号	〒 -			(当日連絡のつく)	電話番号	-	-	

単独参加の方(中・高生)

1 0-12 104 - 10								
氏名	(ふりがな)						男·女	歳
生年月日		年	月	В	学校名・学年		中・高	年
ご住所 電話番号	〒 -				(当日連絡のつく)	電話番号		